姫路市立山陽中学校　学校通信

キラリ 輝け 山陽中 No.54(26.11.02)　文責　内海雅章

黄色学年　探究学習発表会

11 月 2 日（月）、本校で進めている学習の中から、「探究学習発表会」を行いました。今回は 3 年生が長い期間をかけて取り組んできました。学年を 81 グループに分け、そこに 1,2 年生も参加し、学校全体の発表会としました。

【校長の挨拶から抜粋】

皆さんが取り組んできた「探究学習」は、従来の「問いに対する正しい答えを一つだけ覚える学習」とは大きく異なります。自ら疑問や課題を見つけ、情報を集め、仲間と議論し、ときには壁にぶつかりながらも、自分なりの答えや提案を導き出す―。これこそが「探究」です。

皆さんのテーマを事前に見せてもらいましたが、地域社会の課題から、自然、観光、産業、外国人からスポーツまで、身近な日常を含め、実に多種多様で魅力的なものばかりでした。 教科書の中だけでは完結しない「生きた課題」に向き合う中で、思い通りにいかない苦労や失敗もあったことでしょう。しかし、その試行錯誤のプロセスすべてが、皆さんにとって何物にも代えがたい「学びの財産」となっています。

本日の発表会で、ぜひ意識してほしいことが二つあります。

一つ目は、「自信を持って伝えること」です。うまく話すこと以上に、自分がなぜこのテーマに興味を持ち、何を学び、どう考えたのか、その情熱や思いを自分自身の言葉で届けてください。

二つ目は、「他者の探究から深く学ぶこと」です。友達の発表に耳を傾け、「そんな視点があったのか」「自分ならどう考えるだろう」と、互いの視点を掛け合わせることで、皆さんの視野はさらに大きく広がります。

【探究学習発表の様子】










本日の発表会には、ここ数年本校の学習活動に指導やアドバイスをいただいている関西大学、岩﨑教授をはじめ姫路市教育委員会学校指導課、ＤＸ・教育デザイン係、姫路市政策局企画政策室、ひめじ創生戦略室からも来校されました。多くの方々の支援のもと発表会を実施しましたが、何より 3 年生の学びに向かう姿勢が大きかったと思います。岩﨑教授、榎本主幹、来賓の方々より、お話をいただき閉会となりました。





姫のまちは、さらに好きになりましたか？